

B—3 鳥取県倉吉絣の模様の類別と特長について

倉吉北高校 福井 貞子

1. 他県の絣研究，写真集は既に多くの発表があるが，鳥取県倉吉絣の模様や特長は明らかにされていない。

倉吉絣は、江戸末期より明治、大正にかけて、国内はもちろん、諸外国の博覧会で高評を博し、賞状を受賞し、年産約3万5千反という織物を生産しながら、昭和に入り産業としての絣は衰微した。

倉吉絣の模様を時代別に類別し、その特長を見いだしもう一度絣の美しさを見直したい。

2. 絣のコレクション200種類と、機工場の絣標本帳、絣柄帳の700種類と、当時工女（老婆）の語り、絣沿革史なるものにより、類別し、山陰の他の絣（米子の浜絣、島根県広瀬絣）と比較した。

3. 大別した絣柄は、絵柄と幾何学模様であるが、倉吉は、絵絣が多く、しかも柄が単純で、あかぬけし、他の絣模様にみられぬ、花鳥山水等があり、架空模様等もある。地質が厚く、藍染に優れ、初期の絣ほど美しさが大きい。手紡ぎ紡績と地藍のよさであろう。

明治中期より他県の（久留米、伊予、備後）影響を受けて、幾何学模様と絵絣の混入になるが、倉吉絣は真白い上品な模様で、しかもデザインが洗練されている。現在絣着物のデザインに劣らぬ美しさがある。